

報道機関各位

## 北九州市出身俳優 光石研さん登壇

### 「中学生映画鑑賞教室」開催

(北九州国際映画祭関連イベント)

北九州市は、平成元年よりフィルム・コミッション事業に取り組むことで「映画の街」として成長してきました。今年市制60周年にあたり、北九州市初の国際映画祭「北九州国際映画祭」を開催します。

本事業は、北九州国際映画祭関連イベントとして、映画の力により、感受性豊かな中学生の時期に、映画鑑賞の機会を創出することで、芸術を身近に感じてもらうとともに、「映画の街・北九州」としてのシビックプライドのさらなる醸成を図るために中学生映画鑑賞教室を実施します。

当日は、映画の上映に加え、北九州市出身俳優 光石研(みついしけん)氏に登壇いただき、上映する映画や「映画の街・北九州」の魅力などについて子ども達へお話しいただきます。

つきましては、下記のとおり当日の様子を公開いたしますので、是非ご取材をお願い申し上げます。

#### 記

(1)日 時 令和5年12月14日(木)

・午前の部 9:45～11:50(125分) ※光石研氏出演時間 9:45～10:05

※取材集合時間 9:30

・午後の部 13:45～15:50(125分) ※光石研氏出演時間 15:30～15:50

※取材集合時間 13:30(映画を鑑賞される場合)又は 15:15(トークのみ場合)

※当日取材にあたっての注意事項等を説明させていただきますので、必ず集合時間にお集まりいただきますようお願いいたします。

(2)会 場 黒崎ひびしんホール 大ホール

(3)内 容 (上映時間100分、休憩約5分、トーク約20分)

■映画上映 『バイプレイヤーズ～もしも100人の名脇役が映画を作ったら～』

監督:松井大悟(北九州市出身) / 出演:光石研(北九州市出身)ほか

■俳優 光石研氏によるトーク

(4)参加者 市内の中学生約1,000名

#### 【お問合せ・ご連絡先】

市民文化スポーツ局文化企画課

担 当:(課長)小島・(係長)片山

電 話:093-582-2389



## 光石研氏

1961年9月26日生まれ、福岡県出身。高校在学中に『博多っ子純情』(78)のオーディションを受け、主役に抜擢される。以後、冷徹なヤクザから良き父親役まで様々な役柄を演じ、映画やドラマ界では欠かせない存在として活躍。2016年には第37回ヨコハマ映画祭助演男優賞(映画『お盆の弟』(15)・『恋人たち』(15))、2019年には第15回コンフィデンスアワード・ドラマ賞主演男優賞(「デザイナー 渋井直人の休日」(TX))を受賞。同年には出身地の北九州市より市民文化賞を受賞。

近年の主な映画出演作は『青くて痛くて脆い』、『喜劇 愛妻物語』

(20)、『バイプレイヤーズ～もしも100人の名脇役が映画を作ったら～』『浜の朝日の嘘つきどもと』、『由宇子の天秤』、『マイ・ダディ』(21)、『おそ松さん』、『やがて 海へ と届く』、『メタモルフォーゼの縁側』、『異動辞令は音楽隊！』(22)、『波紋』(23)など。



### 【上映作品】

バイプレイヤーズ もしも100人の名脇役が映画を作ったら

2021年製作／100分

配給:東宝映像事業部

劇場公開日:2021年4月 監督:松居大悟(北九州市出身)



日本の映画・ドラマ界に欠かせない名脇役である田口トモロヲ、松重豊、光石研、遠藤憲一らが本人役で出演し、これまで2度ドラマ化された人気シリーズの映画版。ドラマに出演した約100名のバイプレイヤーズに加え、映画だけのスペシャルキャストとして菜々緒、有村架純、天海祐希、木村多江、岸井ゆきの、北村一輝、でんでん、役所広司と錚々たる面々が加わった。映画ではドラマに続き、役者たちで賑わう撮影所・バイプレウッドが物語の舞台。とある配信ドラマの撮影に挑んでいる元祖バイプレイヤーズの田口トモロヲ、松重豊、光石研、遠藤憲一と、トラブル続きで映画撮影が難航している濱田岳、柄本時生ら若手バイプレイヤー、さらには各局番組のキャストたちがスクリーン狭しと絡み合っていく。100名超のバイプレイヤーズが魅せる演技の応酬からは、一秒たりとも目が離せない本作らしいゆるゆるコメディかと思いきや、ラストには大きな感動が待ち受ける超大作群像コメディ。連ドラ、大河、朝ドラ、映画チームなどバイプレウッド全体に嵐を呼ぶ大騒動を巻き起こす！こんなんで100人の役者の映画は完成するのか！？そしてそんなドタバタ悲喜劇を越えると映画史上初の試みのとんでもないラストが待っている！100人だからこそ成し遂げられる未体験の温かな感動がスクリーンを包む！